

浅沼組が既存の発表会を進化させ、新たな発表会『技術フォーラム』を開催

～全社的な情報共有を推進し、技術力向上と業務改善を加速～

株式会社浅沼組(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:浅沼誠)は、2025年11月7日、技術力向上と業務改善を目的とした「技術フォーラム(以下、「本フォーラム」と言う)」を開催しました。本フォーラムは、従前独立して開催していた「技術発表会」(2007年~)と「作業所生産性向上策発表会」(2019年~)を統合し、より効率的に情報共有を図る新しい取り組みです。



《技術フォーラムについて》

本フォーラムは、技術力向上と業務改善を全社的に推進することを目的としています。建設現場だけではなく、バックオフィス・フロントオフィスなどを含む労働環境から生まれた技術的な取り組みや創意工夫を広く共有し、組織全体で知見を活かすことで、生産性の向上と品質の確保を図ります。

これまで、社員が取り組む技術的工夫や業務改善策を社内で水平展開する「技術発表会」と、浅沼組が将来にわたり持続的成長をするためには、ともに作業所で働く協力会社の生の声を聴き、知恵を出し合うことが不可欠という考え方から、協力会社で構成される浅沼組弥生会との意見交換会から生まれた取り組みである「作業所生産性向上策発表会」をそれぞれ開催してきました。今回の技術フォーラムは、この二つの趣旨を統合し、作業所負担の軽減、重複業務の解消を図るとともに、より広い視点での情報共有と議論を促進する場として企画されました。

本フォーラムは二部構成の計14編の発表が行われ、省力化や業務改善に資する最新の取り組みが共有されました。

① 【第一部】技術レポート編 (発表時間15分×5編)

現場や設計・施工における技術的課題の解決や新しい工法の提案など、専門性の高い取り組みを発表

② 【第二部】創意工夫編 (発表時間10分×9編)

日々の業務の中での省力化、効率化など、現場やバックオフィス・フロントオフィスなどで生まれた創意工夫を発表



趣旨説明 (技術研究所長 山崎順二)

また、新たな取り組みとして、プレゼン審査制度を導入しました。各編において、7名の審査員による厳正な審査を行い、優秀プレゼンに「審査員特別賞」を設けました。プレゼン審査制度を導入することで、発表者のスキル向上と全社的な情報共有のさらなる活性化を目指します。審査基準は以下の3つの項目で実施しました。

| 評価項目 | 評価内容 |
|---------------|-------------------|
| ① ビジュアライゼーション | プレゼン資料や図表の見易さ |
| ② 発表内容と方法 | 声の大きさと速さ、発表順序と明確さ |
| ③ 発表時間と質疑応答 | 回答の的確さ、時間の正確さ |

《浅沼社長 開会挨拶要旨》

「今年度が第1回目の『技術フォーラム』ですが、昨年まで『技術発表会』と『生産性向上策発表会』として別々に開催していた2つの発表会を統合し、新たな形での発表会となります。この統合により、技術と業務改善の両面から、より広い視点での発表と議論が可能になることだと思います。今年度の技術フォーラムは、東京・大阪の両拠点での同時開催に加え、全社員向けのWeb配信も行われ、全国の仲間がリアルタイムで視聴できます。日々の業務の中で生まれた技術やアイデアを共有することで、組織全体の変革と進化につながることを楽しみにしています。加えて、皆さんの挑戦と創意工夫が、当社の技術力向上の可能性を広げてくれることに期待しています。

今回の技術フォーラムが、皆さんにとって新たな視点を得る機会となり、次の挑戦への一歩につながり、今後の業務や技術開発に活かされることを切に願っております。」

《プレゼン演題》※数字は発表順

| 第一部（技術レポート） | | 審査員特別賞 |
|-------------|--------------------------------------|--------|
| No.1 | クレーン走路におけるあと施工梁鋼製型枠 | ○ |
| No.2 | チャンバー内でのシールド機カッターヘッド補修 | |
| No.3 | 予定価格が超過する工事の積算及び見積の考え方 | |
| No.4 | BIMを活用した擁壁の影響範囲と地盤改良杭の干渉に対する変更提案 | |
| No.5 | Power Automate for Desktopを使用した業務自動化 | ○ |



浅沼社長挨拶

| 第二部（創意工夫） | | 審査員特別賞 |
|-----------|------------------------------|--------|
| No.1 | デジタルサイネージによる業務効率化 | |
| No.2 | 置き構台の有効性について | |
| No.3 | 狭隘地におけるリフトローラー工法を用いたPC擁壁の施工 | ○ |
| No.4 | 点群測定による既設建物の測量・作図 | |
| No.5 | BIMを活用した天井内メンテルートの検証・説明 | |
| No.6 | QRコードによる匿名意見収集 | |
| No.7 | ARツールを活用した杭頭補強筋墨出し | |
| No.8 | 移動昇降式足場(リフトクライマー) | |
| No.9 | シールド工法2次覆工スチールフォーム2基施工への取り組み | |



「審査員特別賞」受賞者 プrezent状況

※審査員特別賞列の「○」は受賞者を示す

《今後の展望》

今回の技術フォーラムは、情報共有の効率化と発表者のスキル向上にも注力し開催しました。発表内容には、デジタル技術を活用した生産性向上の取り組みが多く含まれており、こうした先進的な取り組みを全社で共有し、DX施策をさらに推進してまいります。浅沼組は、こうした取り組みを継続し、技術革新と業務改善を両輪とした企業成長を加速させてまいります。

《概要》

- 日時: 2025年11月7日(金) 13:10~17:00
- 会場: 浅沼組大阪本社／浅沼組東京本店（大阪・東京をリモート接続）※Zoomウェビナーによる同時配信実施
- 参加人数: 約270名（配信視聴者含む）
- プレゼンタイトル数: 14編

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
 株式会社浅沼組 戦略企画本部 コーポレート・コミュニケーション部
 TEL: 06-6585-5508 / Eメール: asanuma_ir@asanuma.co.jp